

イベント実行委員会の活動

【目次】

活動報告概要	．．．．．	P 2
1. ２０２２年度のイベントの概要	．．．．．	P 4
2. ２０２３年度の広報活動計画（案）	．．．．．	P 19

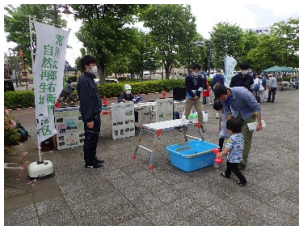
主な報告・提案・発議事項

区分	内容	資料参照ページ
報告	Ⅰ 第52回協議会で承認された内容で、イベントを実施しました。	P. 3～11
提案	Ⅰ 今年度に準じて2023年度のイベント活動計画を提案します。	P. 19～21

活動報告概要

- 出展イベントにおいて、家族を対象に、ねらいを一般ボランティアによる保全管理作業への広報に絞り、ヒバカリ、ミシシippアカミミガメ・クサガメ、ドブガイ、モクズガニといった生き物展示を前面に出して親子連れが立ち寄りやすい工夫をし、訪れた子どもたちが生き物に夢中な間に、大人向けに配布資料や航空写真を用いて事業について説明を行うことを試行しました。（下記参照）

■ 5月8日（日）9：30～15：00に桶川市で開催された「おけがわ春のふれあいフェスタ」
（主催：桶川市）の出展内容と集客の様子

			
パネル展示の様子	生き物展示の様子	展示した生き物 （ヒバカリ）	展示した生き物 （ミシシippアカミミガメ、 クサガメ、ドブガイ）
			
航空写真を用いた説明 風景	配布資料を用いた説明の 様子	集客の様子①	集客の様子②

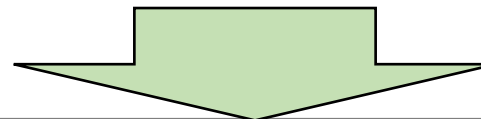
■ 当日の配布物のセット
※その他、TDA作成の生きもの図鑑
や協議会パンフレットを適宜配布



荒川太郎右衛門地区自然再生事業の紹介



維持管理作業の案内チラシ



- 結果、当ブースには、約880名が立ち寄り、その後、少数ですが、保全管理作業への参加にもつながりました。
- 今後は、生き物展示とあわせて、展示された種における環境上の課題、課題を解決するために必要な作業メニュー、最終的な太郎右衛門自然再生地の将来像など、ストーリー性をもたせたパネルの設置など、担い手確保の効果を高める発信を試行していくことが挙げられます。

1. 2022年度のイベントの概要

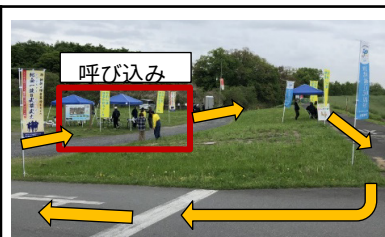
かわじまはるかぜウォーク2022出展状況

- 自然再生事業の認知度拡大と活動への参加促進を目的として、4月29日（金）8：00～16：00に川島町で開催された「かわじまはるかぜウォーク2022」（主催：川島町）に出展しました。
- 雨天のため13：30までの出展となりましたが、かわじまはるかぜウォークの参加者が662名の中、桶川西高校科学部の「水族館展示」の集客力もあって、全体の3分の1にあたる約270名が展示ブースへ来場しました。当日は、開催中にSNSを活用して、現在の様子などを積極的に発信していきました。
- 今後のイベント出展時の留意点として、資源節約の一環としてQRコードによる資料のダウンロード化や、効率よく資料配布するためのセット化、受付への誘導表示の設置、見やすいパネルのより一層の工夫（一目で情報が伝わる工夫）などが挙げられます。また、来場者の中には、維持管理活動に関心を示した方々もいたため、活動参加へつなげるさらなる情報提供が求められます。さらに、桶川西高校科学部の「水族館展示」の顧問からは継続した連携について打診が寄せられており、今後のイベント企画時にも連携の検討が求められます。

■ 出展会場への集客活動の様子

■ テントおよびテント脇ブースの様子

■ クイズ&スタンプラリー実施の様子



はるかぜウォーク参加者の
誘導ルート



受付前の様子



荒木委員による活動の
説明風景



クイズ&スタンプラ
リーの様子①



クイズ&スタンプラリーの
様子②



桶川西高校科学部の生徒によ
る
呼び込み



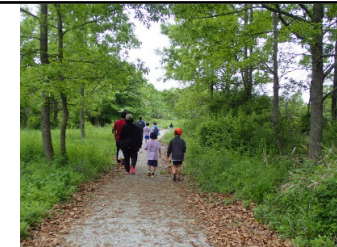
桶川西高校科学部による
水族館展示



各ブースの集客状況



クイズ&スタンプラリーの
様子③



クイズ&スタンプラリー
の様子④

おけがわ春のふれあいフェスタ出展状況

- 自然再生事業の認知度拡大と維持管理活動への参加促進を目的として、5月8日（日）9：30～15：00に桶川市で開催された「おけがわ春のふれあいフェスタ」（主催：桶川市）に出展しました。
- 当ブースには、約880名の来場がありました。ヒバカリ、ミシシippアカミミガメ・クサガメ、ドブガイ、モクズガニといった生き物展示を前面に出して親子連れが立ち寄りやすい工夫をし、訪れた子どもたちが生き物に夢中な間に、大人向けに配布資料や航空写真を用いて事業について説明を行いました。
- 結果、次回の維持管理作業の参加者確保に繋がる効果的な広報活動となりました。
- 今回の出展を踏まえた今後の留意点としては、生き物展示とあわせて、展示された種における環境上の課題、課題を解決するために必要な維持管理、最終的な太郎右衛門自然再生地の将来像など、ストーリー性をもたせたパネルの設置など、担い手確保の効果を高める発信を試行していくことが挙げられます。

■ 当日の出展内容と集客の様子

			
パネル展示の様子	生き物展示の様子	展示した生き物 (ヒバカリ)	展示した生き物 (ミシシippアカミミガメ、 クサガメ、ドブガイ)
			
航空写真を用いた説明 風景	配布資料を用いた説明の 様子	集客の様子①	集客の様子②

■ 当日の配布物のセット

※その他、TDA作成の生きものの図鑑
や協議会パンフレットを適宜配布



荒川太郎右衛門地区自然再生事業の紹介



維持管理作業の案内チラシ

1) 概要

項目	内容	備考
企画	日時 6月18日(土) 15:00~16:30 受付 14:30~14:45 (受付からイベント会場までは、運営事務局の車による輸送にて移動)	予備日：無し ※ミドリシジミが活動する時間に合わせ、実施時間を設定しています。
	名称 「埼玉の蝶 ミドリシジミがすめるハンノキ林を守ろう！」	2016年から始めて、今回で4回目 (2018年は雨天のため中止、2020年・2021年はコロナのため中止)
	目的 一般公募によるボランティアを募り、将来の市民参加型モニタリング担い手の確保とともに、市民向けの「調査ガイド」作成のための情報収集を目的とします。	
	内容 ①ハンノキの幼木調査 ②幼木周辺の除草作業 ③ミドリシジミの生息調査	
	場所 太郎右衛門自然再生地・下池	
	募集人数 20名	参加申込数：9名 参加者数：8名
	参加費 100円/人	保険申込み担当は寄付金等管理事務局
収支計画	広報 ■広報媒体と設置・配信先 ①チラシ(A4両面カラー)：ボランティアセンター等に設置 ②ウェブ：ボランティア情報サイト、協議会・荒上HP、SNS等 ③ダイレクトメール：直近(昨年度)イベント参加者へ発送 ④新聞：5/20毎日新聞、6/6東京新聞のイベント欄に掲載 ⑤自治体広報誌：桶川市6月号に掲載 ※広報期間：5月上旬～6月10日(金)	補足：チラシ設置場所 ・大学ボランティアセンター ・自治体ボランティアセンター ・自治体公共施設 ・埼玉自然学習センター ・アリオ上尾 等
	収入 1,460円	参加費：800円(8人×100円) 募金：660円
	支出 1,350円	保険：1,350円(45人×30円) 消耗品：なし
	計 110円	

【広報用チラシ】

【主催】荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

埼玉の蝶 ミドリシジミがすめるハンノキ林を守ろう！

ボランティア募集

2022/6/18(土) 15:00 - 16:30 (受付開始 14:45) 小雨決行・荒天中止

作業内容：ハンノキ周辺の除草
自然再生地に移植したハンノキの生育を妨げる外来植物等の除草を行います。

作業のイメージ  ミドリシジミ観察のイメージ 

● 申込期限・定員
6月10日(金)まで、
先着20名とさせていただきます。

● 参加費：100円
(保険代・資料代等)

● 場所 太郎右衛門自然再生地・下池

「太郎右衛門自然再生地」は、1930年代の河川改修で荒川の本流が直線になったとき、旧流路として残った3つの「池」を中心とした場所です。

かつて湿地が広がっていたこの場所の生態系を取り戻すために、さまざまな整備や活動を実施し、湿地環境の保全を目指しています。

ハンノキが食葉のミドリシジミが、
方方には見られる
かもしれないよ！ 

お問い合わせ先 (裏面の申込書をご利用ください)
荒川太郎右衛門地区 自然再生協議会事務局
(国土交通省 荒川上流河川事務所内)
〒350-1124 川口市新堀町3-12
電話：049-220-0145
FAX：049-247-9850
e-mail：ktr-tarou@mlt.go.jp

たろえもん 

埼玉県の高校三年生(2013)の作品です。
「荒川太郎右衛門地区」と聞いて思い浮かんだ「池」のイメージを脱しつ、「埼玉」というキーワードから、「再び生まれる=新しく生まれる=生まれる=生み出す=卵」という発想から、制作されました。

2) 実施状況

- 当日の参加者は8名でした。
- 下池運動グラウンドに設置した受付からハンノキ幼木調査・ミドリシジミの観察を行う場所までは、スタッフが車で輸送しました。
- イベントでは今後の市民によるモニタリング活動の試行として、ハンノキ幼木数調査やミドリシジミ調査を実施しました。
- 前半にハンノキ幼木数確認と周辺の除草作業、後半に長畑委員の指導のもと、ミドリシジミ調査を行いました。



ハンノキ幼木調査の様子



集合写真



ミドリシジミ調査の様子



ハンノキ幼木周辺の除草作業の様子



マーキングしたハンノキ幼木

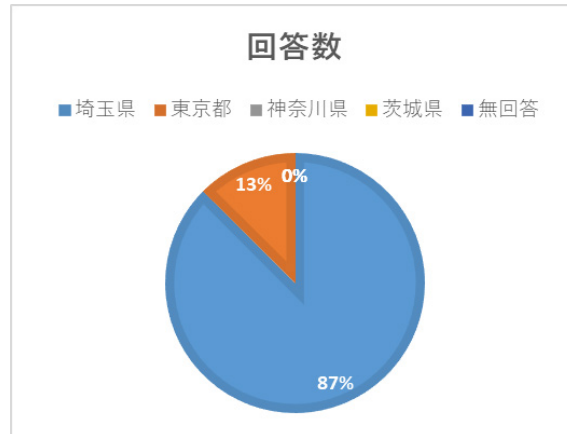


捕獲したミドリシジミの観察

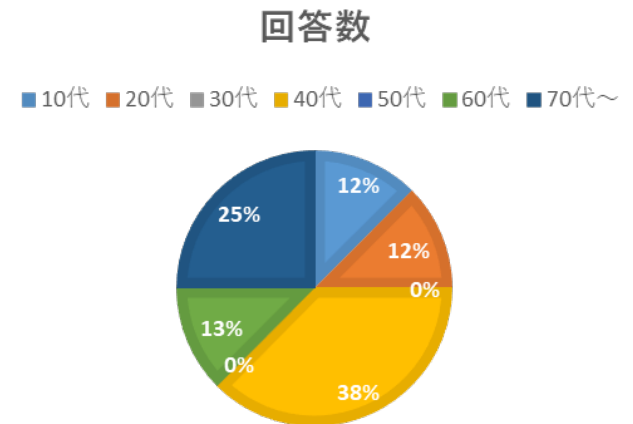
3) アンケート結果

■属性（参加者8人中8人が回答）

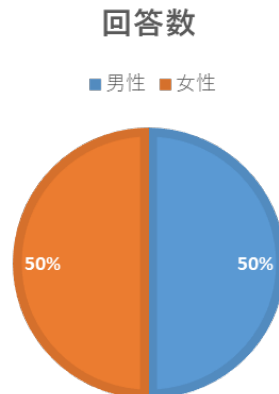
【居住地】



【年齢】



【性別】

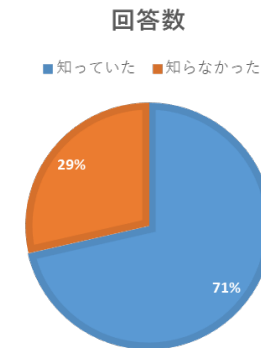


- ・居住地は、埼玉県からの参加者が多数を占めていた。その中でも近隣の上尾市からの参加者が半数以上であった。
- ・年齢は、10代～70代と幅広い層からの参加であった。

3) アンケート結果

■問1.太郎右衛門自然再生地を知っていましたか？

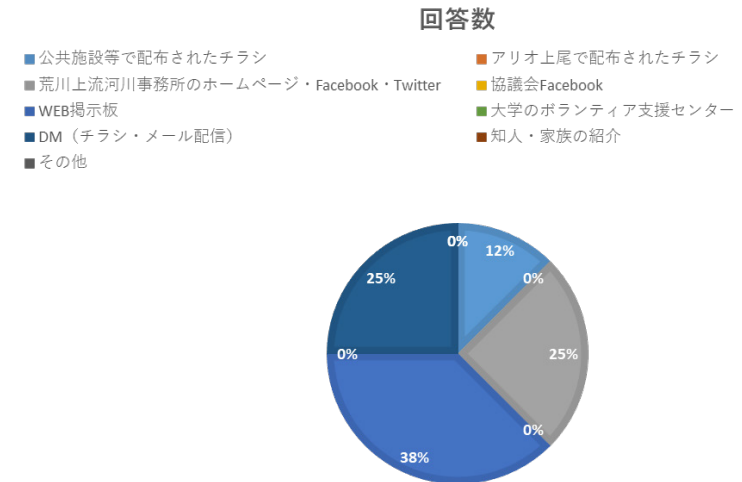
- ・リピーター参加者が多数を占めていたため、約7割が太郎右衛門自然再生地の活動について知っていた。



■問2.今回のボランティア活動を何で知りましたか？

- ・新規参加者は、Web掲示板（Active 2名、環境展望台 1名）経由でボランティア活動を知り、参加していた。

- ・リピーター参加者については、
荒川上流河川事務所ホームページ（2名）
協会から送付したDM（2名）
上尾市で配布されたチラシ（1名）経由の参加であった。

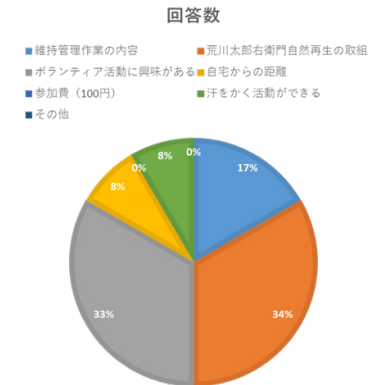


3) アンケート結果

■問3.今回のボランティア活動に参加しようと思ったきっかけは何ですか？ (複数回答)

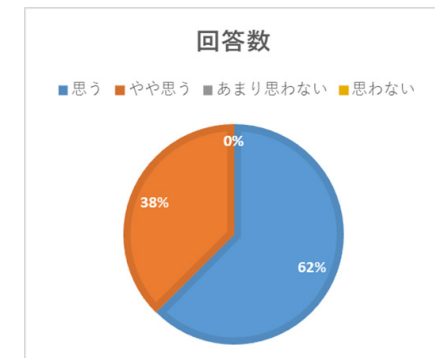
・参加のきっかけとしては、太郎右衛門自然再生地の取組み(34%)、ボランティア活動に興味がある(34%)が多数を占め、

その他に
維持管理作業内容(17%)
自宅からの距離(8%)
汗をかく活動ができる(8%)
などの理由であった。



■問4.今回のボランティア活動に参加して、次回も参加してみたいと思いましたか？

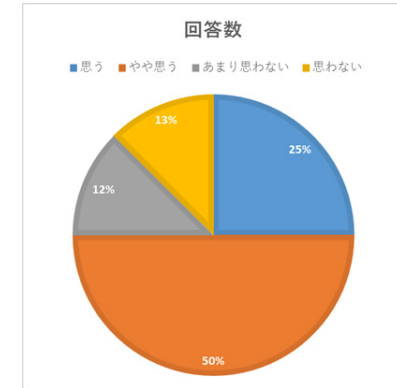
・次回のボランティア活動の参加については、参加してみたいと思う(62%)、やや思う(38%)と次回の参加について関心を示していた。



3) アンケート結果

■問5. 今回行った「ハンノキ」や「ミドリシジミ」のモニタリング調査について、ご自身でも任意に現地を訪れていただき、実施可能と思われましたか？

- ・任意によるモニタリング調査実施の可能性については、可能と思う（25%）、やや思う（50%）、あまり思わない（12%）、思わない（13%）と参加者によって意見が分かれた結果となった。



■現地でのヒアリング

- ・環境ボランティア活動に興味があり、サイト「環境展望台」でこのイベントを知った。太郎右衛門の活動に興味があるため今後も情報が欲しい。
- ・5月に参加した維持管理イベント参加時から活動に興味がある。また参加したい。
- ・ボランティア活動に興味があり、自宅から近い場所でイベントがあることを知り、参加した。

■考察

- ・今回は、リピーター参加者が7割を占めたこともあり、荒川太郎右衛門自然再生の取り組みや維持管理作業の内容への高い関心を持った参加者が多い印象でした。その中には、5月に実施した維持管理イベントからの参加者も2名おり、そのようなリピーターについてはきめ細やかなフォローをし、継続的な参加を促すことが求められます。
- ・新規参加者（10代～40代）については、Web掲示板経由からの参加者であったことから、ボランティア活動に興味がある若い世代の獲得先として、Web掲示板の積極的な活用は引き続き有効と考えられます。
- ・イベント参加者が8名と募集人数20名を大きく割る結果については、広報開始時期、内容など過年度と同様であるものの2019年に実施した同イベントでは団体参加者（大学生）が占める割合が大きく、団体や学校に広報活動でアプローチをすることが今後の集客の改善策として考えられます。その他の改善策としては、同日に桶川市では3年ぶりの「べに花まつり」が開催されていたため、近隣地域のイベント等を考慮し日程を設定する配慮も求められます。

4) 募金箱設置について

- 今回試行的に実施した募金箱の設置については、下記の結果となりました。

募金額：660円

受付に設置した段階では、事前説明もない状態ということもあり募金箱へ関心を示す参加者はみられませんでした。活動参加後は参加者が積極的に募金をする姿がみられました。今後もイベント等での募金箱の設置は有効な手段であると考えられます。

受付に設置した募金箱



閉会式時に募金箱を設置



6月25日 上尾市環境推進大会・環境パネル展示の報告・評価

- 6月25日（土）アリオ上尾の「光の広場」で開催された「上尾市環境推進大会2022」（上尾市主催）に出展しました。
- ファミリー層が多く来客することを考慮し、展示するパネルは太郎右衛門自然再生地で見ることができる生き物の写真を展示しました。
- パネル上では、太郎右衛門自然再生地の紹介動画やつばさ北小の活動紹介動画のQRコードを貼付、パネルとともに来場者が自身の携帯から活動の情報を得ることができるしかけを試行しました。



アリオ上尾 光の広場



展示パネル（A0サイズ）



展示パネル（正面）



光の広場 展示スペース



来場者の様子

■ 考察

- ・アリオ上尾のファミリー層の集客力が高いことから子どもから大人まで関心を持って展示物パネルを見学している様子が見ることができました。
- ・今後の広報活動として、パネル展示とともに、ウェブサイトやSNSへの誘導、動画との連動、リーフレット等の紙媒体の連携など様々な媒体を組み合わせることにより、情報発信力を高めていくことが効果的と考えられます。

2．2023年度の広報活動計画（案）

1. 2023年度の活動計画（素案）

● 2023年度の協議会主催および自治体主催のイベント出展計画（素案）は、下記の通りです。

協議会主催：

1) ミドリシジミ観察会

● 実施予定日 6月

※本イベントは、調査的要素が大きいため2023年度以降は、6月の維持管理イベントとしての取り扱いにするかご検討をお願いします。

2) 秋イベント

● 実施予定日 10月

※定期的に実施している維持管理イベントとの差別化のため、イベントの目的・ターゲット・期待する効果を明確にした上で、計画を立てることが求められます。

案1：幅広いターゲットが自然再生地を訪れることができるようなお祭りの要素のあるイベント
⇒自然再生地の認知度拡大

案2：現在自然再生地で活動を行っている主体が自然再生地に集まり一緒に作業を行う事で、交流を深め、情報共有の場とするイベント
⇒連携の強化

自治体主催：

1) かわじまはるかぜウォーク

● 実施予定日 4月29日（仮 要主催者確認）

2) おけがわ春のふれあいフェスタ

● 実施予定日 5月8日（仮 要主催者確認）

3) 上尾市環境推進大会パネル展

● 実施予定日 7月下旬

4) 上尾市環境パネル展

● 実施予定日 11月上旬

5) 川島町農業商工祭

● 実施予定日 11月23日（仮 要主催者確認）